

経営情報 2020.10月

Monthly Report

(東証1部 コード9616)

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「経営情報 Monthly Report」は、株主様をはじめとする弊社関係者の皆さまに、より弊社をご理解いただくとともに、皆さまのご意見を経営に反映させていただくことを目的として、発信させていただいております。

共立メンテナンスグループ セグメント別(事業別) 売上状況

10月の状況につきましては、GO TO トラベルキャンペーンやコロナ感染防止に対応した当社独自の新商品等が功を奏し、ホテル事業の回復が進んだことに加え、デベロップメント事業等の進捗もあり、グループ売上高は、単月で135.7億円となり、前期比98%まで回復が進んでおります。累計では前期から未だ30%の減収となっておりますが、前月より更に差を縮めております。

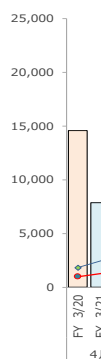
GO TO トラベルキャンペーン等に後押しされたリゾート事業は、稼働率・客室単価がともに上昇し、単月売上高が前期から14%の増収となりました。ドリーミーイン事業は東京や大阪など元タイムバウンド比率の高かった主要都市圏で回復に時間を要していましたが、いずれも回復傾向にあり、全国平均稼働率は前月から約10ポイント上昇し、減収幅を縮めております。一方、寮事業につきましては、留学生の訪日延期などがあり、期初稼働率は93.7% (前期比5.0PP減) でスタートしましたが、その回復が遅れており、前期から8%の減収となっております。

今後も全社を挙げて新型コロナウイルスの感染防止策を徹底したうえで、反転攻勢を着実に強めてまいります。

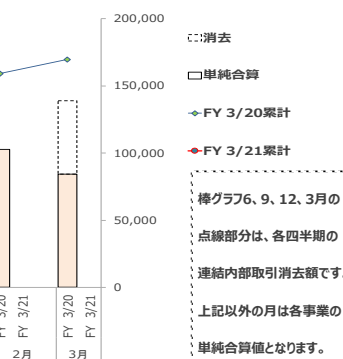
単位：百万円(百万円未満切捨て表示)

	前年同期実績	2020年10月実績(単月)		前年同期実績	2020年10月実績(累計)	
			対前期			対前期
寮事業	4,007	3,702	-305 -8%	29,200	27,178	-2,022 -7%
学生寮	2,006	1,829	-176 -9%	14,564	13,294	-1,270 -9%
社員寮	1,167	1,064	-102 -9%	8,884	8,346	-538 -6%
ドミール	419	435	+16 +4%	2,968	3,098	+129 +4%
受託寮	414	372	-41 -10%	2,783	2,439	-343 -12%
ホテル事業	6,869	6,131	-738 -11%	49,710	24,756	-24,954 -50%
ドリーミーイン事業	4,266	3,152	-1,113 -26%	29,587	13,354	-16,232 -55%
リゾート事業	2,598	2,953	+354 +14%	19,844	11,290	-8,554 -43%
その他	4	24	+20 +485%	278	110	-167 -60%
総合ビルマネジメント事業	1,098	1,087	-10 -1%	9,231	8,453	-777 -8%
フーズ事業	594	650	+55 +9%	4,268	2,910	-1,357 -32%
デベロップメント事業	196	704	+507 +258%	15,865	8,827	-7,038 -44%
不動産流動化事業	-	-	- -	9,238	-	-9,238 -
その他	196	704	+507 +258%	6,627	8,827	+2,199 +33%
その他事業	1,069	1,301	+232 +22%	7,519	8,667	+1,148 +15%
PKP事業	536	767	+231 +43%	4,054	5,125	+1,070 +26%
シニアライフ事業	138	136	-2 -2%	958	942	-16 -2%
その他	393	397	+3 +1%	2,506	2,600	+93 +4%
合計	13,835	13,577	-258 -2%	115,797	80,795	-35,002 -30%

単月売上高(百万円)



累計売上高(百万円)



(注1) ここに表記している当期の計数情報は、監査法人による会計監査受検前のグループ各社の売上高(速報ベース)を単純合計したものであり、連結内部取引消去前ベースです。従って、後日確定する財務数値と差異が生じる可能性があります。

(注2) 上記グラフは、四半期末以外の月の単月売上高は注1に記載の売上高ベースで、各四半期末月の単月売上高は当該四半期の連結内部取引消去額を控除して表示しています。なお、累計売上高(折れ線グラフ)につきましては、経過した各四半期の連結内部取引消去額を控除して表示しています。